

土岐川グリーンベルト通信 第32号

平成 22 年度「笠原の森」笠原中学校による活動報告

今年度、笠原中学校では、1年生から3年生までの3学年（総勢 348 名）を対象として、総合的な学習の時間を用いて、「笠原の森」をフィールドとした自然学習・観察・樹林整備活動を行いました。

○1年生（114名、今年度初めて活動に取り組む生徒）

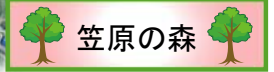
活動テーマ 「笠原の森を知る」

○2年生（118名、今年度2年目の活動に取り組む生徒）

活動テーマ 「笠原の森を調べる」

○3年生（116名、1年生から活動に取り組んでおり、今年で3年目を迎える生徒）

活動テーマ 「笠原の森を育てる・伝える」



活動実績一覧

日程	生徒	活動内容
2010年11月9日	3年生	歩道整備活動 1) 歩道整備 2) 階段整備 3) 方向案内看板設置 4) 森の入口案内看板の支柱の建込み 5) 看板の製作（※屋内作業） 6) ロープ柵設置 7) ベンチ設置
2010年12月7日	2年生	学習会「樹林調査・伐採事前学習」
2010年12月10日	1年生	学習会（オリエンテーション） 「森の歴史学習」
2010年12月21日	2年生	樹林調査と整備（伐採）
2011年1月11日	1年生	観察会「森の散策と観察」
2011年1月18日	1年生	しいたけの菌打ち

1年生活動(12/10 学習会)

講義



砂防ダム実験



1年生活動(1/18 しいたけの菌打ち)

“ふるさとの樹林に興味をもつ”、“樹林の恵を知る”を目的として、「しいたけの菌打ち」を行いました。寒空の下、NPO 法人鎮守の森メンバーや岐阜県東濃農林事務所職員の指導のもと、生徒同士で協力しながら、熱心に作業に取り組む様子が見られました。

<活動内容>

- ①しいたけ栽培についての学習（講師：岐阜県東濃農林事務所）
- ②原木への“しいたけの菌（駒菌）”打ち（1人あたり原木1本）
- ③仮伏せ



原木への穴あけ



菌うち

土の観察



木の観察



2年生活動(12/7 事前学習、12/21 樹林調査・整備)

事前学習

(調査や整備の
意義・方法について)



樹林調査・整備

樹林のなかの環境を知るための「気温・照度調査」と樹林を
明るくするための「樹林整備」を行いました。

<活動内容>

1) 気温調査

- ・整備前後に、気温計を用いて計測
- ・計測地点：林内9地点、林外1地点

2) 照度調査

- ・整備前後に、照度計を用いて計測
- ・計測地点：林内18地点、林外1地点

3) 樹林整備

- ・常緑低木・枯れ木などの伐採
- ・整備面積：1,800m²



整備

照度調査



整備前後の
照度調査結果 →
樹林が明るくなり
ました!

	相対照度 (%) (林内照度/林外照度)×100
整備前 (14:05)	2.0
整備後 (15:00)	21.4

参考) コナラなどのナラ類の生育には、相対照度 20%以上が必要とされています*。

※出典：光環境管理から見た針葉樹人工林に広葉樹を導入する施業方法の検討、
H11 森林総合研究所研究成果選集

3年生活動(11/9 歩道整備)

“森の利用者が迷うことなく安全に歩くことができる道”を目指して、歩道および周辺の整備を行いました。

- 1) 歩道整備 (延長 36m)
- 2) 階段設置 (長さ 1m の階段：30 段、長さ 2m の階段：2 段)
- 3) 方向案内看板の設置 (4 基)
- 4) 森の入口案内看板の支柱の建込み (1 基)、看板の製作 (屋内作業)
- 5) 急傾斜地への立入り禁止柵 (ロープ柵) の設置 (延長：230m)
- 6) ベンチ設置 (3 基)

…歩道整備…



…階段設置…



整備前

整備後

…入口案内看板 の建込み・製作…



完成した入口案内看板 →



…ベンチ設置…



完成したベンチ



…方向看板の設置…



完成した看板



「土岐川流域グリーンベルト整備事業」は、多治見市・土岐市の緑を対象とし、市街地に隣接する山麓斜面を一連の緑地帯（グリーンベルト）として、保全・創出することにより、土砂災害を防止し、自然環境・景観を保全することを目的としています。

作成者・お問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局

多治見砂防国道事務所

〒507-0023 岐阜県多治見市小田町 4-8-6

TEL : (0572) 25-8020

<http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/>